

長根だより

令和8年4月15日

4月号

長根小 学校通信

【校訓】 強く 明るく よく励む

カラフル

長根小学校長 三宅 勝之

55人の新1年生を迎え、全校児童444人で令和8年度がスタートしました。今年度、長根小学校が大切にしていきたいキーワードは「カラフル」です。

始業式では、毎年恒例、子どもたちと一緒に、「ダン」「ダン」「パン」と手を叩く活動を行いました。「3回手を叩く」、「床を2回・手を1回叩く」、「ひじやひざを使って叩く」、の3通りの叩き方です。隣と同じ叩き方だった子もいれば、違うたたき方だった子もいます。しかし、同じたたき方をしている、出てくる音は一人一人違います。力の入れ方、速さ、手の大きさ。その違いが、大きな音、やさしい音、元気な音と、カラフルな音を生み出しました。今年度の長根小学校の子どもたち、444人いれば、444通りの音があります。体育館に響いた444通りの音は、とてもあたたかく、心が動かされるカラフルな空間になりました。

次に、「色」の話をしました。一口に「青」と言っても、一人一人が想像する青にはわずかに違いがあるはずです。それは赤でも黄色でも同じです。つまり色の中にも、たくさんのカラフルがあるのです。分かりやすいように、いろいろな青を集めた色コード表を子どもたちに見せました。濃い青、淡い青、少し緑がかかった青、黒に近い青……。同じ「青」に見えても、実にさまざまな青があります。すると子どもたちは、「これがいい!」「わたしはこの青が好き」と、それぞれが自分の好きな青を指さして教えてくれました。同じ青を選ぶ子もいれば、まったく違う青を選ぶ子もいて、その様子から、子どもたち一人一人の感じ方や好みの違い=カラフルさが、自然に伝わってきました。

人も同じです。子どもたち一人一人に、違ったよさや個性があります。考え方も、感じ方も、表現の仕方もみんな違います。その一人一人の「自分らしい色」が大切にされ、安心して表現されるとき、学校はより豊かで、あたたかい場所になります。444人の子どもたちが、それぞれ違う色をもち、違う輝きをもつ長根小学校。444色が集まると、学校全体はとてもカラフルで素敵な学校になります。

今年度は、子どもたち一人一人のカラフルな思いや考え、表現を引き出し、子どもたち自身が安心して自分の色を表現できる学校づくりを進めていきます。みんなで思いきりカラフルな一年にしていきたいと思っています。子どもたち一人一人のカラフルなよさが伸びやかに発揮されるよう、学校だけでなく、家庭や地域と力を合わせて育んでいきたいと考えています。引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。